

すべての人が希望をもてる！元気な板橋へ。

大切なのは「助け合い」「分かち合い」「話し合い」

しがき伸也

34歳

しんや

一歩ずつ着実に・・・

いたばしがき通信 第3号 (2011年3月) しがき伸也と元気な板橋を作る会

■連絡先 携帯：090-1965-6179 FAX：03-3975-7083 板橋区成増 1-8-17-303
ホームページ：http://shigakishinya.jp.org/ Eメール：shigakishinya@gmail.com



やはり高すぎる！議員の年収

名古屋市は 1600万円 → 800万円へ削減
板橋区は約 1000万円

不安と孤立を見捨てない！

障がい者Aさん（39歳男性）の場合
障害者年金が月8万円【年収144万円】
月給4万円の仕事しか見つからない

あなたは、どう思いますか？

考えるヒント①

平均年収の比較

民間の給与所得者 406万円
自治体議員(全国) 630万円
板橋区職員 700万円

板橋区議会議員 約1000万円
みなさんが決めたら???万円

- ・民間の給与所得者の平均年収と比較すると、2.5倍になります。区の職員と比較したら300万円の差があります。
- ・年収が500万円以下の給与所得者は、2009年で給与所得者全体の73.8%だそうです（国税庁）。

考えるヒント②

アメリカの自治体議員の年収

50万人以上の自治体 490万円

英・独・仏の国会議員の年収

約1000万円

ドイツの州議会議員の年収

620万円

- ・名古屋市は人口226万人で800万円へ削減予定、板橋区の人口は53万人で1000万円です。
- ・アメリカの100万人以上の自治体の議員報酬は645万円です。
- ・日本の国会議員は3300万円程度と英・独・仏と比較して高額です。

考えるヒント③

議員の報酬を決めるのは？

決めるのは議員です

報酬審議会とは？

区長が任命する10人程度の委員によって、区長の諮問を受けて議員など特別職の報酬を審査する機関です。しかし議員報酬を決める権限は無く、「引き下げるべき」「引き上げるべき」という程度の答申を出すだけです。

- ・議員の報酬を審議する審議会は、どの自治体にもあります。しかし決める権限はなく、いくつかの市では「減額」の答申が出ている、議員は拒否しています。
- ・審議会委員の「市民公募」「会議の公開」を行っている自治体もあります。
- ・板橋区は「市民公募」「会議の公開」の両方とも行っていません。

■成増駅頭で演説活動していた時にAさんに話しかけられました。「障がい者支援について話してくれたい」と。その後交流が始まりました。

■Aさんは、生まれたときから右目が見えず左目がかすかに見える、という弱視の障がい者です。中野の施設で働いていますが、週38時間労働で給料は月額4万円ほど。現在Aさんは、68歳の母親と2人暮らしで、Aさんの給料と障がい者年金、母親のアルバイト代と年金で生活しています。住宅ローンもあるため、ぎりぎりの生活だ、もう少し給料の多い仕事に就きたいが見つからない、と言っています。

■また板橋区には、中野の施設と等しい額の給料を支払えるだけの作業所や施設が無いため、弱視というハンディキャップを背負いながら、約1時間の通勤を強いられています。

■将来が見えない、不安だ、生活保護を受けることになってしまっているのではないか、しかしローンが残る住宅は売らないと生活保護は受けられない。

■Aさんだけでなく、障がい者の人たちだけでなく、多くの人がさまざまな理由で困難を抱えています。不安と孤立を抱えて暮らしている人が増えています。



の提案

みなさんの意見をお聞かせ下さい。

2割カットの800万円へ！

■板橋区の議員報酬は、いろいろと比較してみるとやはり高すぎます。民間給与も下がっています。2割くらいの削減が求められているのではないのでしょうか。名古屋市の議員と同額の年収800万円が妥当です。痛みを分かち合う議員であって欲しいと思います。

議員の雇用主は市民です！

■議員の雇用主は市民です。800万円が高いと思う人も低いと思う人も含めて、市民参加で議員報酬を決めるべきです。審議会の「市民公募」「会議の公開」など、市民も議員も参加して話し合う仕組みを作りましょう。

私が実現したいこと

■子育ての楽しいまちに

- 保育園の待機児をゼロに
- 児童虐待の予防と被害者支援を充実
- 孤独な子育てをなくすための地域の支援ネットワークを

■助け合いのまちに

- 元気な高齢者による介護支援ボランティア制度を導入
- 障がい者の就労支援、区役所での雇用を拡大
- DVへの総合的な支援を充実

■市民目線で議会を改革

- おもしろい議会だよりを全戸に配布
- だれでも参加できる議会主催の議会報告会を定期開催
- 費用弁償（議会に出席するだけで1日4000円の交通費）の廃止

= 活動資金のため、カンパを募集しています =

ゆうちょ銀行口座
 【記号・番号】10020・4・1676621
 【口座名称】しがき伸也と元気な板橋を作る会
 ＊一般金融機関から
 「ゆうちょ銀行」へのお振り込みの場合
 【口座種別】普通預金【店名】〇〇八（せせ）
 【口座番号】4167662

しがき伸也 プロフィール

- 1976年 兵庫県尼崎市生まれ。
- 2000年 関西学院大学総合政策学部卒業
 在学中は、ダウン症や筋ジストロフィーなど障がいを持った方々の自立生活支援活動や、フィリピンで劣悪な環境におかれている家族への住宅建設支援活動に取り組みました。
- 2000年 国際協力NGO21世紀協会のインターンとしてフィリピン・ミンドロ島に3年滞在。
 山奥に住む先住民族マンチャ族の子どもの日常生活支援および教育支援活動に携わりました。
- 2004年 青年海外協力隊として西セネガル・セネガルに2年滞在。
 マングローブ植林、識字教室、健康管理活動（指圧指導など）を参加型で行い、住民の生活上支援に携わりました。



指圧は隣村からも来るほどの人気

- 2006年 NPOフィリピン日系人リーガルサポートセンターに就職（2010年8月退職）。
 フィリピンと板橋区を往復しながら、第2次世界大戦後、フィリピンに残された日本人移民の子孫の身元探し及び国籍確認支援活動に携わりました。
- 2010年 エコでピースな地球の未来を政治で目指す、『みどりの未来』会員になる
- 2011年夏頃 第1子が板橋区で誕生予定。

板橋区のサービス

改善提案①

板橋区の区報『広報いたばし』は新聞折込です。一部を公共施設の窓口などに置くだけです。全世帯数約28万。新聞折込部数は約18万部。36%が新聞購読しておらず、区報に触れる機会が普段ありません（現に私自身独身時代は、新聞を取っていませんので、区報を読むためには駅や公共施設まで取りに行かなければならなかった）。施設まで容易に取りに行けるならいいのですが、それが困難な障がい者、高齢者、情報が届かないため関心の無い区民、日々の生活に精一杯な低所得の人などは、情報から隔絶されてしまっています。



の提案

知らされない区民36%

「情報の隔絶」は無縁社会の温床です

私は区報を全戸に配布することを提案します。配布は、業者委託もしくはシルバー人材センターの協力を得て行うなどが考えられます（例：中野区、葛飾区）。配布の際に高齢者の安否確認を行えば、支え合い助け合いの板橋への着実な一歩になるのではないのでしょうか。

また、内容の充実も必要だと思います。障がい者、高齢者、DV被害者、貧困者など困難を抱える人々に適切で分かりやすい情報が盛り込まれた区報にしていきたいです。

板橋区のサービス

改善提案②

子どもの保育園入園の申請と児童手当の申請は、同じ階で行われますが、窓口は異なり、ワンストップ化とまでにはなっていません。

また、離職者の支援についても、区役所、池袋ハローワーク、板橋区社会福祉協議会（社協）がそれぞれ別々に行っています。

役所の「たらい回し」をなくす！

ワンストップサービス（総合窓口）の充実を

現在中野区では、子ども、離職者などへの総合相談窓口が設置されています。例えば、子ども相談窓口では、保育園の入園や児童手当の申請などを一つの窓口で終わることが出来ます。

湯浅誠さん（反貧困ネットワーク、内閣参与）が提案して実現した離職者等支援のワンストップサービスでは、離職し生活費や住宅に困窮する人々への就労活動支援や住宅手当支給の相談だけでなく、新宿ハローワーク及び社会福祉協議会なども連携し、就職相談、貸付相談なども一つの窓口で行えるようになっています。板橋区でも拡充を。



の提案

海外派遣のNGOで学んだこと

大切なのは「助け合い」「分かち合い」「話し合い」

私がフィリピンやセネガルの田舎で出会った人々の多くは、経済的には皆貧しくとも、助け合い、分かち合い、みんなで話し合っただけで心豊かな人生、幸せな生活を求め、それらを手に入っていました。今の日本はどうでしょうか。経済格差、情報格差が生み出す無縁社会の拡大により、豊かな人生、幸せな生活を得ることが、どんどん難しくなっている様に感じます。

板橋区も約2.5日に一人が自殺し（08年は132名、07年は156名の自殺者）、孤独死もあとをたたく、うつなどの心の病も年々増加しています。

このままでいけない。負の連鎖を止め、全ての区民が希望をもてる、元気な板橋区へ「助け合い」「分かち合い」「話し合い」をモットーに頑張りましょう。

しがき がんばれ紫垣くん！

私達も応援します。
 河合弘之（弁護士）
 須貝郁子（埼玉県・和光市議）
 漢人あきこ（東京都・小金井市議）

24時間介護で出会った身体障害者の24時間介護を通して出会った、人のために一生懸命働こうとしている紫垣君を応援しています。
 小宮勇介（農業手伝い）

何かやってくれる人紫垣さんは周りに流されず、いつも相手を理解していく柔軟なところがある、皆のために何かやってくれる人です。
 原みゆき（元海外協力隊 青年隊 セネガル派遣・放射線技師）

池田晶子（国際協力NGO21世紀協会 理事長）
 機動力と博愛精神
 魅力的な愛嬌を持った彼は、強烈なリーダーシップを発揮し、理想の世界を実現したいという熱い思いを持っています。

前向きな性格を活かしてどこでも生きていける力と素直さと前向きな性格を活かして板橋区で活躍する彼の今後を楽しみにしています。高野敏子（NPOフィリピン日系人リーガルサポートセンター 事務局長）

人の痛みが分かる人物学生時代は、フィリピンの貧困家族の支援をしていた彼は、本当に人の痛みがわかる信頼できる人物です。今泉信宏（元関西学院大学総合政策学部大学院指導教授）



平日は毎日、朝夕、どこかの駅で宣伝活動をしています。声をかけて下さい。

一歩ずつ着実に・・・